
HUFEC Bulletin 北海道大学フューチャー・アースコンソーシアム掲示板
第 08号 (2024.12.24 発行)

北海道大学フューチャー・アース(Future Earth、FE)コンソーシアム(HUFEC)から FE に関わっている方々へ発信する掲示板です。毎号日本国内外の FE に関するニュースやイベントなどの予定や報告などの情報を月 1 回程度配信します。過去の記事は HUFEC のホームページをご覧ください。

<https://hufec.arc.hokudai.ac.jp/>

連絡先：北極域研究センター内 [arc-hai-fes\(at\)ml.hokudai.ac.jp](mailto:arc-hai-fes(at)ml.hokudai.ac.jp)

(English text follows Japanese one.)

目次

<ニュース>

<イベント>

1. 第 4 回 Future Earth 日本サミット 「私たちが選ぶ未来 — 地球温暖化と社会の分断の先にあるもの」
2. 第 5 回サステナビリティ・リサーチ&イノベーション (SRI) 会議 (SRI2025)
3. セミナー「日本におけるプラネタリーヘルスの取り組み～広島大学プラネタリーヘルス・イノベーションサイエンスセンターの活動より～」
4. シンポジウム「SDGs とその先のサステナブルな社会へ向けて：グローバルなデジタル社会はどのように変革を加速するのか？」
5. 国立環境研究所・環境経済連携グループセミナー
6. 【参加登録・発表登録開始】亜寒帯・北極海生態系研究 (ESSAS) のオープンサイエンスミーティング (OSM)

詳細

<ニュース>

<イベント>

1. 第4回 Future Earth 日本サミット 「私たちが選ぶ未来 — 地球温暖化と社会の分断の先にあるもの」

フューチャー・アース日本委員会が主催する標記の会合が開催されます。詳しくは

<https://japan.futureearth.org/event/4th-future-earth-japan-summit-the-future-we-choose-beyond-global-warming-and-social-divisions/>

をご覧ください。フライヤーについては以下のサイトをご覧ください。

<https://japan.futureearth.org/wp-content/uploads/2024/12/FEJapanSummit2025Flyer.pdf>

■日時：2025年2月9日(日) 13:00 – 10日(月) 12:10

【参加者募集（有料）】（今回より、参加費が必要となります。）

■形式：ハイブリッド（総合地球環境学研究所 アクセス + Zoom）

■参加申込：参加には事前登録・お支払いが必要です。こちらの登録フォームからお申し込みください。（1月末締切）

https://app.payvent.net/embedded_forms/show/675a099af407b92690260b23

■発表申込：12月15日を締め切りとして、分科会及びポスターセッションでの発表者を募集します。募集要項をご確認の上、こちらのフォームよりお申し込みください。

■参加費（オンサイト・オンライン同額）：一般 3,000 円、学生 2,000 円

※懇親会（3,000～4,000 円の予定）及び昼食（1,000 円程度の予定）は、別途、お申込み頂き、実費を回収させていただきます。

※学生ボランティアも募集中です。参加費無料で、薄謝をお支払い予定です。関心のある方は、お問い合わせ先まで、ご連絡ください。

■参加定員：オンサイト 80 名／オンライン 300 名（先着順）

■対象：どなたでもご参加頂けます。

■主催：フューチャー・アース日本委員会

■共催：総合地球環境学研究所 ほか

■協賛：（公財）イオン環境財団 ほか

■後援：日本学術会議（申請中） ほか

2. 第 5 回サステナビリティ・リサーチ&イノベーション（SRI）会議（SRI2025）

第 5 回サステナビリティ・リサーチ&イノベーション（SRI）会議（SRI2025）が、2025 年にシカゴで開催される。イリノイ大学はホスト機関であり、共同主催者でもある。SRI2025 は、10 月 31 日（火）にシカゴで開催されたイベントで発表されました。

SRI は、持続可能性に向けた、知識ベースの包括的なアプローチに焦点をあてた世界最大の年次会合です。この 5 日間のイベントは、オーストラリア、南アフリカ、パナマ、フィンランドで開催された 4 回の SRI 会議からの勢いをさらに発展させるものです。

「サステナビリティ・リサーチ&イノベーション会議は、現代における最も重要な問題に取り組むという挑戦に、世界的な焦点を当てるものです。「SRI2025 には、専門家から地域活動家まで、持続可能性に取り組む人々が世界中から集まります。SRI2025 は、専門家から地域活動家まで、持続可能性に取り組む人々を世界中から集め、私たちの子どもたちや孫たちのために、より良い結果をもたらす革新的で実行可能な解決策を探るものです。このようなフォーラムの開催地として、イリノイ大学システムは最適である。」と 2023 年 10 月 31 日（火）シカゴの Discovery Partners Institute での記者会見でイリノイ大学システムの総長 Tim Kileen は述べています

SRI2025 は 2025 年 6 月に開催が予定されています。対面参加と遠隔参加の両方が可能です。

3. セミナー「日本におけるプラネタリーヘルスの取り組み～広島大学プラネタリーヘルス・イノベーションサイエンスセンターの活動より～」

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（女性リーダー育成型）事業の一つとして、標記のセミナーを北海道大学環境健康科学研究教育センターが主催します。事前申し込みが必要です。詳しくは以下の記事およびサイトをご覧ください。

<https://www.cehs.hokudai.ac.jp/news/14178>

事前申し込みフォーム：

<https://forms.gle/wZFRVbr9Gj1TGKzs9>



日時： 2025 年 1 月 17 日（金） 13:30～15:30

会場： 医学部百年記念館大会議室

講演名: 日本におけるプラネタリーヘルスの取り組み～広島大学プラネタリーヘルス・イノベーションサイエンスセンターの活動より～

講師: 鹿嶋小緒里 准教授 広島大学 IDEC 国際連携機構・副機構長; プラネタリーヘルス・イノベーションサイエンスセンター・センター長

テーマ・内容: 広島大学における DEI (Diversity, Equity, and Inclusion) の取り組み、特に、ジェンダー、文化的背景、ライフステージなど多様な視点からの事例をご紹介します。

ご講演の後 16:00～17:00 に同会場で意見交換のセッションを設けています。ここでは特に、以下のテーマについて議論します：

- ・ プラネタリーヘルスというグローバルな視点から、ダイバーシティとインクルージョンが研究や教育にどのような影響を与えるか
- ・ 女性リーダーシップの実例

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(女性リーダー育成型) 事業

日本における プラネタリーヘルスの 取り組み

～広島大学プラネタリーヘルス・
イノベーションサイエンスセンターの
活動より～

2025年1月17日 金

参加費 無料

事前申込
フォーム



<https://bit.ly/3DDrM1G>

会場 北海道大学医学部百年記念館

時間 13:30～15:30 (受付 13:15～)
▶16:00～17:00
同会場にて意見交換会を開催します



講師
鹿嶋 小緒里 准教授
広島大学IDEC国際連携機構・副機構長
プラネタリーヘルス
イノベーションサイエンスセンター・センター長

主催 北海道大学環境健康科学研究教育センター

お問合せ▶info@cehs.hokudai.ac.jp URL▶www.cehs.hokudai.ac.jp

4. シンポジウム「SDGs とその先のサステナブルな社会へ向けて：グローバルなデジタル社会はどのように変革を加速するのか？」

慶應義塾大学 SFC 研究所 xSDG ラボ、国際連合大学 主催シンポジウム「SDGs とその先のサステナブルな社会へ向けて：グローバルなデジタル社会はどのように変革を加速するのか？」が開催されます。

このシンポジウムでは、デジタル技術や AI が昨今の私たちの世界を劇的に変革させている中、SDGs の達成を通じた持続可能な開発の実現へ向け、デジタル技術や AI の発展がもたらす新たな可能性や、その実現へ向けたガバナンスやパートナーシップなどについて幅広く議論します。

■ 日時：2025 年 1 月 9 日（木）15:30-17:30

■ 会場：国連大学本部 ウ・タント国際会議場

(<https://jp.unu.edu/about/contact-us#location>)

■ 言語：日本語と英語（同時通訳あり）

■ 事前登録制（ご登録はこちらからお願いします）

<https://connections.unu.edu/civcrm/event/register?reset=1&id=634>

■ 参加無料詳細なプログラムにつきましては、下記をご覧ください。

<https://www.research.keio.ac.jp/event/2024/12/202519xsdg-sdgs.html>

<https://jp.unu.edu/events/upcoming/towards-sdgs-and-beyond-how-can-global-digital-society-accelerate-transformations.html>

United Nations University

SYMPOSIUM

SDGs とその先のサステナブルな社会へ向けて：グローバルなデジタル社会はどのように変革を加速するのか？

2025 年 1 月 9 日（木）
15:30-17:30

会場
国連大学本部 ウ・タント国際会議場
東京都渋谷区神宮前 5-6-37

主催
国際連合大学
慶應義塾大学 SFC 研究所
xSDG・ラボ

共催
国際交流基金日本グローバル・パートナーシップ強化助成事業
Sustainable Development Solutions Networks (SDSN) ジャパン

後援
外務省
環境省

本シンポジウムは、2024 年 9 月に開催された国連本部サミットで採択された「グローバル・デジタル・コンパパス」やデジタル技術の活用が、持続可能な未来の実現に向けた変革をどのように加速させるかについて議論します。

本講演は英語と日本語で行われ、英日同時通訳をご利用いただけます。

入場は無料ですが、事前登録が必要です（1月8日18:00締め切り）。

今すぐ登録
jp.unu.edu

UNU xSDG Lab.

SYMPOSIUM

SDGs とその先のサステナブルな社会へ向けて：グローバルなデジタル社会はどのように変革を加速するのか？

プログラム

15:30-16:45 開会挨拶
賀江憲史 教授（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授、xSDG・ラボ代表）

16:45-16:55 基調講演
ナリタ・マルワ 教授（国連大学学長、国連事務次官）

16:55-17:05 パネルディスカッション
「SDGs とその先のサステナブルな社会へ向けて：グローバルなデジタル社会はどのように変革を加速するのか（Ⅱ）」

モデレーター：
国谷裕子 氏（ジャーナリスト、慶應義塾大学特別招聘教授）

パネリスト：
村井純 氏（慶應義塾大学教授）
井田長彦 氏（日本マイクロソフト株式会社 政策渉外ディレクター）
賀江憲史 教授

17:15-17:30 閉会挨拶

今すぐ登録
jp.unu.edu

5. 国立環境研究所・環境経済連携グループセミナー

- ◆日時：2025年1月7日（火）14:00-15:30
- ◆場所：国立環境研究所中会議室およびオンライン（Teams）
- ◆言語：日本語
- ◆講演タイトル：「パリ協定下での脱炭素化推進に向けた縮小政策に関する実証分析」
- ◆講演者：グレゴリー・トレンチャー氏（京都大学大学院地球環境学
堂・准教授）

トレンチャー氏は、エネルギー転換・サステナビリティ転換のガバナンスに関する社会科学的研究に取り組まれており、これまでも、化石燃料からの撤退（phase-out）の概念についてのレビュー論文や日本の石炭政策について分析した論文をはじめ、非常に多くの学術論文を精力的に発表されています。本セミナーでは、トレンチャー氏が現在取り組まれている、エネルギー転換における縮小政策（decline policy）に関する最新の研究内容を紹介していただく予定です。

※本セミナーは、どなたでも自由に参加可能です。オンライン参加の方は以下のリンク先で参加登録をお願いします。（オンライン接続にはMicrosoft Teamsを使用します。）

（参加登録サイト）

<https://events.teams.microsoft.com/event/a7361e75-36d7-429e-8a48-157ad71f43a2@501a1b83-3905-40f1-b043-453be32c2e76>

問い合わせ先：朝山慎一郎（国環研・社会システム領域）

6. 亜寒帯・北極海生態系研究（ESSAS）のオープンサイエンスミーティング（OSM）

ESSASはFuture EarthのGlobal Research NetworksであるIMBeR(Integrated Marine Biosphere Research)のRegional Programです。年次大会に加え、Open Science Meeting(OSM)は数年おきに開催されますが、2025年6月には日本でOSMが開催されます。今月（2024年12月）よりOSM 2025大会の参加および発表要旨の登録が始まりました。北海道大学がホストする以下のESSASホームページにて大会の詳細確認と参加・発表の登録が可能です：

https://essas.arc.hokudai.ac.jp/what_s_new/2025-essas-osm/

発行：北海道大学FEコンソーシアム事務局（北海道大学北極域研究センター内）
URL: <https://hufec.arc.hokudai.ac.jp/>

Hokkaido University Future Earth Consortium

Bulletin No. 08

(issued on December 24, 2024)

This is a bulletin board for people involved in Future Earth (FE) activities from the Future Earth Consortium of Hokkaido University (HUFEC). Each issue contains information on FE-related news and events in Japan and abroad, including schedules and reports, and is distributed about once a month. For past articles, please visit the HUFEC homepage.

<https://hufec.arc.hokudai.ac.jp/>

Contact: arc-hai-fes(at)ml.hokudai.ac.jp at Arctic Research Center.

Table of Contents

<News>

<Event>

1. The 4th Future Earth Japan Summit “The Future We Choose - Beyond Global Warming and Social Parting”
2. Sustainability Research and Innovation Congress 2025
3. Seminar “Planetary Health Initiatives in Japan: From the Activities of the Center for the Planetary Health and Innovation Science, Hiroshima University
4. Symposium “Towards a Sustainable Society in the SDGs and Beyond: How will the Global Digital Society Accelerate Change?”
5. National Institute for Environmental Studies, Environmental and Economic Partnership Group Seminar
6. Ecosystem Studies of Subarctic and Arctic Seas (ESSAS) Open Science Meeting (OSM)

Details

<News>

<Event>

1. The 4th Future Earth Japan Summit “The Future We Choose - Beyond Global Warming and Social Parting”

The Future Earth Japan Committee will host the above meeting. For more information, please visit

<https://japan.futureearth.org/event/4th-future-earth-japan-summit-the-future-we-choose-beyond-global-warming-and-social-divisions/>

■Date: Sunday, February 9, 2025, 13:00 - Monday, February 10, 2025, 12:10

Participants are invited to join the seminar (fee is required from this time).

■Format: Hybrid (Institute for Humanity and Nature Access + Zoom)

■Registration: Pre-registration and payment are required to attend. Please register using the registration form here. (Deadline: End of Jan.)

https://app.payvent.net/embedded_forms/show/675a099af407b92690260b23

■Presentation Application: The deadline for application is December 15, 2024, for presenters at the breakout sessions and poster sessions. Please check the Call for Abstracts and submit your abstract using this form.

■Registration Fee (On-site and Online): General Admission 3,000 yen, Students 2,000 yen

※The reception (expected to be 3,000-4,000 yen) and lunch (expected to be about 1,000 yen) are available upon separate registration, and the actual costs will be collected.

※Student volunteers are also needed. There is no participation fee and a small fee will be paid. If you are interested, please contact us for further information.

■Participation capacity: 80 on-site / 300 online (first-come, first-served)

■Target: Anyone is welcome to attend.

■ Organized by: Future Earth Japan Committee

■ Co-sponsored by: The Institute for Global Environmental Studies and others

■ Supported by: AEON Environmental Foundation, etc.

■ Supported by: Science Council of Japan (pending), etc.

2. Sustainability Research and Innovation Congress 2025

The fifth Sustainability Research & Innovation (SRI) Congress (SRI2025) will be held in Chicago in 2025, marking its first convening in the United States. The University of Illinois System is the host institution and co-organizer. SRI2025 was announced at an event in Chicago on Tuesday, 31 October.

SRI is the world's largest annual gathering focused on action-forward, knowledge-based and inclusive approaches to sustainability. The five-day event will build upon the momentum from the four preceding SRI Congresses in Australia, South Africa, Panama, and Finland.

"The Sustainability Research & Innovation Congress brings a global focus to the challenge of addressing the most important issues of our time," "SRI 2025 will convene people committed to sustainability, from experts to community activists, from all over the world. Together, they will explore innovative and implementable solutions that will lead to better outcomes for our children and grandchildren. The U of I System's history as a leader makes us the perfect host for such a forum," U of I System President Tim Killeen said at a press conference at the Discovery Partners Institute in Chicago, Tuesday, October 31, 2023.

Tentatively scheduled for June 2025, the SRI Congress will include in-person and remote participants.

3. Seminar "Planetary Health Initiatives in Japan: From the Activities of the Center for the Planetary Health and Innovation Science, Hiroshima University

The above-mentioned seminar will be held as one of the projects of the Initiative for Realization of Diversity Research Environment (Female Leader Development Type). It is hosted by the Center for Environmental and Health Sciences, Hokkaido University. For details, please refer to the following article and website.

<https://www.cehs.hokudai.ac.jp/news/14178>

Advance Registration form:

<https://forms.gle/wZFRVbr9Gj1TGKzs9>



Date: Friday, January 17, 2025, 13:30-15:30

Venue: Main Conference Room, Centennial Hall, School of Medicine

Title: Planetary Health Initiatives in Japan - Activities of the Center for the Planetary Health and Innovation Science, Hiroshima University

Speaker: Associate Professor Saori Kashima, Deputy Director, IDEC Institute, Graduate School for International Development and Cooperation (IDEC), Hiroshima University; Director, Center for the Planetary Health and Innovation Science (PHIS), IDEC

Theme/Content: DEI (Diversity, Equity, and Inclusion) initiatives at Hiroshima University, especially from diverse perspectives such as gender, cultural backgrounds, and life stages will be presented.

After the lecture, there will be a session for the exchange of opinions from 16:00 to 17:00 at the same venue. The following topics will be discussed

- How diversity and inclusion impact research and education from a global perspective of planetary health
- Examples of women's leadership

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(女性リーダー育成型) 事業

日本における プラネタリーヘルスの 取り組み

～広島大学プラネタリーヘルス・
イノベーションサイエンスセンターの
活動より～

2025年1月17日 金

参加費 無料

事前申込
フォーム

会場 北海道大学医学部百年記念館

時間 13:30～15:30 (受付 13:15～)
▶16:00～17:00
同会場にて意見交換会を開催します

講師
鹿嶋 小緒里 准教授
広島大学IDC医師連携機構・副機構長
プラネタリーヘルス
イノベーションサイエンスセンター・センター長

主催 北海道大学環境健康科学研究教育センター
お問合せ▶info@cehs.hokudai.ac.jp URL▶www.cehs.hokudai.ac.jp

https://bit.ly/3DQm1G5

4. Symposium “Towards a Sustainable Society in the SDGs and Beyond: How will the Global Digital Society Accelerate Change?”

Keio Research Institute at SFC xSDG Lab and United Nations University will hold a symposium titled “Toward Sustainable Societies in the SDGs and Beyond: How Will the Global Digital Society Accelerate Change?”

In this symposium, we will discuss new possibilities brought by the development of digital technology and AI, as well as governance and partnerships to realize sustainable development through the achievement of the SDGs, as digital technology and AI are dramatically transforming our world these days.

Date and Time: 15:30-17:30, January 9 (Thursday), 2025

Venue: United Nations University, U Thant International Conference Hall (<https://jp.unu.edu/about/contact-us#location>)

Language: Japanese and English (simultaneous interpretation will be provided)

Pre-registration required (Please register here:

<https://connections.unu.edu/civcrm/event/register?reset=1&id=634>

Free of charge. Please see below for the detailed program.

<https://www.research.keio.ac.jp/event/2024/12/202519xsdg-sdgs.html>

<https://jp.unu.edu/events/upcoming/towards-sdgs-and-beyond-how-can-global-digital-society-accelerate-transformations.html>

The image shows two promotional posters for a symposium. The left poster is for the event on January 9, 2025, at the United Nations University (UNU) in Tokyo. It features the UNU logo and the title 'SDGs とその先のサステナブルな社会へ向けて：グローバルなデジタル社会はどのように変革を加速するのか？'. The right poster is for the same event, featuring a program schedule. The schedule includes a welcome address by the event director, a keynote by Professor Shigeaki Nishiyama, a panel discussion moderated by Professor Shigeaki Nishiyama, and a Q&A session moderated by Professor Shigeaki Nishiyama. The event is free of charge but requires registration.

5. National Institute for Environmental Studies, Environmental and Economic Partnership Group Seminar

Date: Tuesday, January 7, 2025, 14:00-15:30

Location: National Institute for Environmental Studies (NIES)

Language: Japanese

◆Presentation Title: “Empirical analysis of downsizing policies to promote decarbonization under the Paris Agreement”

Speaker: Gregory Trencher, Associate Professor, Graduate School of Global Environmental Studies, Kyoto University

Dr. Trencher has been engaged in social science research on the governance of the energy and sustainability transition and has published many academic papers including a review paper on the concept of phase-

out of fossil fuels and an analysis of Japan's coal policy. In this seminar, Dr. Trencher will introduce his latest research on “decline policy” in the energy transition.

This seminar is open to everyone. For online participation, please register at the link below. (Microsoft Teams will be used for online connection.)

<https://events.teams.microsoft.com/event/a7361e75-36d7-429e-8a48-157ad71f43a2@501a1b83-3905-40f1-b043-453be32c2e76>

Contact: Shinichiro Asayama (Kokan Research Institute, Social Systems Area)

6. Ecosystem Studies of Subarctic and Arctic Seas (ESSAS) Open Science Meeting (OSM)

ESSAS is a Regional Program of IMBeR (Integrated Marine Biosphere Research), a Global Research Networks of Future Earth. In addition to the annual meeting, the Open Science Meeting (OSM) is held every few years, and the OSM will be held in Japan in June 2025. Registration for the OSM 2025 meeting and abstracts for presentation has started this month (December 2024). You can check the details of the conference and register your participation and presentation at the following ESSAS homepage hosted by Hokkaido University:

https://essas.arc.hokudai.ac.jp/what_s_new/2025-essas-osm/

Published by: FE Consortium Office, Hokkaido University (in the Arctic Research Center, Hokkaido University), URL:
<https://hufec.arc.hokudai.ac.jp/>